



大和証券グループ

平成 22 年 12 月 24 日

各 位

株 式 会 社 紀 陽 銀 行
世 界 銀 行
株 式 会 社 大 和 証 券 グ ル ー プ 本 社

**紀陽銀行が「グリーンボンド」を購入
～債券投資を通じて地球温暖化対策に貢献する～**

このたび、株式会社紀陽銀行（本社：和歌山県和歌山市、頭取：片山博臣、以下「紀陽銀行」）は、世界銀行（国際復興開発銀行）が新規に発行する「グリーンボンド」を購入し、12月22日に払込が完了しましたので、その概要についてお知らせいたします。

グリーンボンドとは、世界銀行が資金拠出を行っている事業のうち、地球温暖化の要因を取り除くこと、あるいは地球温暖化により引き起こされる諸問題に対処することを目的に開発途上国で実施される事業を支援するために発行される債券です。グリーンボンドで調達した資金は、世界銀行の環境専門家が一定の基準に基づいて選定した地球温暖化対策事業、具体的には、代替エネルギーの導入、温室効果ガスの排出を軽減する新技術の開発支援、森林再生、河川流域管理、洪水対策などの事業を支援するために活用されます。世界銀行は、これまで17億米ドル相当のグリーンボンドをユーロ市場において発行してきました。

今回のグリーンボンドについては、発行総額 1,000 万米ドル全額を紀陽銀行が購入しております。引受けディーラーには、大和証券グループのホールセール証券会社である大和証券キャピタル・マーケット株式会社指名され、発行のアレンジを担当しました。

紀陽銀行では、「紀陽銀行 環境方針」に則り、ISO認証取得をはじめ、環境に配慮した太陽光発電設備を対象としたソーラーローンといった商品・サービスを通じた環境保全への貢献、他企業との提携により省エネを推進する「エスコ事業（省エネ促進事業）」などに取り組んでおります。こういった同行の継続的な環境関連活動の一環として、グリーンボンドへの投資が決定されました。

紀陽銀行 常務取締役の成田幸夫氏は次のように述べています。

「紀陽銀行では、自然豊かな和歌山県に本拠を置く企業として、時代のキーワードである『環境』に配慮した活動を行っております。このたび、地域の皆さまからお預かりした資金を環境保全に向けて有効に活用するために、グリーンボンドの購入を決定致しました。グリーンボンドは、投資を通じて地球温暖化防止に貢献できる、非常に意義のあるものだと考えております。



紀陽銀行



大和証券グループ

これを機に、私どものステークホルダーの皆さまの間でも、環境問題への意識をこれまで以上に高める一助となれば幸いです。

これからも、環境に優しいクリーンな銀行をめざし、地域の皆さまと歩んでまいります。」

世界銀行 財務局駐日代表の有馬良行氏は次のように述べています。

「これまでリターンやパフォーマンスが重視されがちであった金融取引において、投資資金の使途とその社会貢献度が投資を行う際の重要な尺度となりはじめています。グリーンボンドに世界各国の投資家から注目が集まる中、新たに紀陽銀行様がグリーンボンドにご投資頂いたことを大変嬉しく思います。当該資金は、世界銀行が責任を持って地球温暖化問題の解決に寄与する貸出プロジェクトに充当致します。世界銀行は、発展途上国への貸出資金を民間資本市場から借入れており、その大きなシェアを日本の投資家が占めています。日本の投資家の皆様の継続的なご支援に感謝致します。」

また、大和証券株式会社 常務取締役の中村比呂志氏は次のように述べています。

「環境問題のような社会的課題に対する関心は、近年ますます高まっています。一方で、欧米と比較すると、日本における SRI の市場規模は依然として小さいというのが現状です。

今回の紀陽銀行様のように、地域金融機関がグリーンボンドへの投資を行うことは、機関投資家の社会貢献投資への参加を促す契機となり、ひいては日本全体にこの動きが拡大することにつながると考えております。

大和証券グループではこれからも、持続的な社会形成に寄与するような金融機能を構築すべく、証券会社としての責務を果たしてまいります。」

発行概要

| | |
|--------|---------------------|
| 発行体 | 世界銀行（国際復興開発銀行：IBRD） |
| 起債通貨 | 米ドル |
| 発行総額 | 1,000 万米ドル |
| 受渡日 | 2010 年 12 月 22 日 |
| 償還日 | 2015 年 12 月 22 日 |
| 各債券の金額 | 100 万米ドル |
| 主幹事 | 大和証券キャピタル・マーケッツ |



大和証券グループ

■ 紀陽銀行について

紀陽銀行は、1895年に設立された地方銀行で、紀陽フィナンシャルグループの中核を成しています。多くのお客さまによりきめ細やかな対応とサービスを提供し、地域の皆さまの貯蓄・資産運用に関するニーズにお応えするとともに、企業や個人事業主の皆さまの資金需要に対する円滑な資金提供を行います。

現在、和歌山県下に70店舗、大阪府下に36店舗（堺市以南は26ヵ店）を配置し、両府県を主要な営業基盤としています。和歌山県における預金・貸出金比率は、ともに県内でトップシェアを維持しています。

「お客さまから選ばれ続ける銀行」の実現に向け、お客さまの満足を第一とする心を大切にし、お客さまの良き相談相手として知恵を絞り、汗をかき行動する銀行を目指します。

■ 世界銀行（IBRD）について

1945年に設立された世界銀行（International Bank for Reconstruction and Development）は、世銀グループのうち最も歴史が長く、また単一機関としては最大の開発資金の融資機関となっています。IBRDは中所得国および信用力のある貧困国に融資、保証、および分析・助言サービスなどの非融資業務を提供し、持続可能な開発を推進することで、これらの国の貧困を削減することを目指しています。過去の融資から得られた利益は、開発活動の原資になるだけでなく、IBRDの財務の健全性を示す指標となり、IBRDが資本市場から低利で資金を調達し、借入国に緩やかな条件で融資を提供することを可能にしています。その平均貸出期間は15～20年（うち据置期間5年）で、金利はIBRD自身の借入れコストに応じて半年ごとに変動しています。

IBRD融資の原資は、資本市場からの借入、加盟国からの出資金、留保利益、IBRD貸付金の回収で賄われ、そのうち市場での借入が最大の資金源となっています。また、各加盟国は出資金のごく一部を実際に払い込み、残額は世銀から請求された場合にのみ支払います。払い込み請求はIBRDが投資家に対する債務を履行することができない場合に限り、今日まで請求されたことはありません。IBRDの理事会は186の加盟国を代表する24名の理事で構成されています。このうち5名は任命理事、19名は選任理事です。日本は、1952年にIBRDに加盟しました。

■ 大和証券グループについて

大和証券グループは、1902年創業の日本を代表する独立系総合証券グループです。グローバルなネットワークにより、世界中の顧客に対し資産形成や企業活動の支援といった金融サービスを提供し、社会及び経済の発展に貢献しています。主要な事業は、エクイティ、債券、デリバティブおよびその他金融商品の開発・提供、エクイティ・債券等の引受業務、M&Aをはじめとするアドバイザー業務に加え、アセットマネジメント業務やプリンシパル投資です。

大和証券グループの営業拠点は、日本をはじめ、米国、欧州、およびアジア・オセアニア地域に広がっています。世界中に約16,000人の従業員を抱え、顧客からの預り資産残高は約42兆円、グループのアセットマネジメント会社2社の運用資産残高は合計で約13兆円です。リテール事業を行う大和証券では120の店舗網、約338万件的顧客口座数を有し、ホールセール事業を行う大和証券キャピタル・マーケットでは21の国と地域に30の拠点を有しています。（数字は全て2010年9月末現在）

以 上